

令和7年度 第1回芦屋市公民館運営審議会 会議録

日 時	令和6年8月29日 (金) 10:30~12:00
場 所	市民センター201・202室
出席者	委員長 今西 幸藏 副委員長 西本 望 委員 多田 直弘 岸岡 文子 越智 高敏 横田 薫  事務局 田嶋国際文化推進室長、大久保公民館長、中西管理係長 公民館講座等事業受託者（河内厚郎事務所） 河内代表、蓮沼業務従事責任者、藤本社会教育主事  欠席委員 鹿野 玲子

1. 正・副委員長選出

2. 報告事項

令和7年度芦屋川カレッジ及び大学院、春・夏の公民館講座等の実施状況について【資料①参照】

3. 協議事項

令和7年度秋・冬の公民館講座等の実施予定について【資料②参照】

4. 議 事

・報告

令和7年度芦屋川カレッジ及び大学院、春・夏の公民館講座等の実施状況について【資料①】

・質疑応答・委員意見

（今西委員長）

年々資料が増えて、中身が充実してきた。読むのが大変なほどです。これは良い話です。学んでおられる市民の姿を思い浮かべながら読ませていただいた、貴重な報告書です。

（西本委員）

にほん語学級にたくさんの方が学ばれていますが、どのような国の出身の方々がいらっしゃいますか。

（事務局・蓮沼）

様々いらっしゃいますが、アメリカ、中国、東南アジアなどです。

（西本委員）

私のこの春からの勤務先が関西国際大学で、26か国からのお学生が学んでいます。それと並行して、芦屋市でも海外からの住民の方が増えているのでしょうか。

事務局・蓮沼)

芦屋市でも増えているようです。  
越智委員)

芦屋市では南浜地区、埋立地に東南アジア系の方がお住まいです。新聞配達は中国、東南アジア系の方が多いくらいに思います。以前信号で停車したところ新聞配達員の方々の会話が聞こえてきたが日本語ではなかった。

また市役所で把握されているとおもいますが、市役所の南のコンビニは、多国展開の経営方針で、日本人を外して外国人を雇用されているんですが、この春外国人同士の、お金を払った、払っていないのもめごとで警察が出動する事案があった。

私は芦屋川カレッジ学友会35期の卒業生ですが、今年学年100人定員に46名在籍という状況。この春、学友会全体で公民館長とも話をさせていただいたところですが、我々学友会としましてもいろいろなところでご要望がありましたら人を出して協力します。我々の卒業生は、京阪神、兵庫県では阪神シニアカレッジが充実していくこちらに人が流れている、蓮沼さんも講師の一角を担っていらっしゃるのでご存じだと思うが、兵庫県が逆瀬川に建物を建てて力を入れている。ここは学長が田辺眞人氏です。芦屋高校の教諭から園田学園の教授もされておられた、いま兵庫県内で歴史を語るうえでトップだと思います。カレッジ学友会代表として危機感を覚えていまして、カレッジを定員に近い人数になるようバックアップをしていきたいと思います。

カレッジの卒業生、今年42期、卒業生は全部で400人近くいる。年齢的にも、カレッジが今年まる40周年、鬼籍に入っている方も3分の1くらいいらっしゃる。カレッジを卒業すると、阪神シニアカレッジに行くか芦屋川カレッジ大学院しかない。大学院に関しては定員100名のところへ120名台、去年までは110名くらい。私も7年目ですが大学院には3回ほど行かせてもらいました。阪神間はレベルが高いと思うので、蓮沼さんもカリキュラム作りは大変だと思うんですけれども、頑張っていただいて、我々学友会も注文を出すだけではなく、人手も出せと言われるなら、我々も入って、全体を盛り上げていかないと、今年は「芦屋川カレッジ40周年」です。この火を絶やすことなくやっていきたいと思います。芦屋市は特に業平町の市民センター・市民会館は非常に交通の便の良いところなんですね。JR・阪急・阪神から徒歩圏内、バス停も近くにあります。建物もLED化していただいたので寿命が伸びました。ルナホールに関しては空調が厳しくなっていることと、元々建物の中が黒っぽいので足元が怖いところがあるのですが、とはいっても我々が学生時代にできたので、このルナホールは阪神間で一番最初にできました。そのあと神戸の大倉山の文化ホールができたんです。なので、ここで演奏するというのが大変ステータスでした。我々の学生の頃はね。

昭和26年国際文化住宅都市を宣言されて日本で唯一の都市なので市民レベルも高級、高額納税者もいらっしゃるし、芦屋ブランドもありますし、市民のクオリティも高いので、蓮沼さん、本当に大変だと思うんですけれど、我々も頑張ってこの市民センターの活動をバックアップしていきたいと思います。学友会の立場からこういう発言をいたしました。よろしくお願ひします。

事務局・田嶋室長)

さきほど外国人人口の話が出ておりましたが、本市の人口は微減していってます。外国人の人口は微増している状態です。だいたい1年間に100名くらい増えているというところで、今だいたい2,100ちょっと外国人がいまして、人口が93,000人程なので、2.2~2.3%ぐらいがいま外国人が占める割合となっております。

今西委員長)

海外の方々が労働力として本当の意味で頑張っていただく、そういう時代がきてます。そこには言葉の壁があるわけで、行政の仕事として、渡日者の方々への支援を重々お願いしたいと思います。今もありましたように芦屋市にも増えてきたということで喜ばしいと思っています。

それと同時に、以前から思っていたのですが、なぜ芦屋市の地域日本語コーディネーターとともに芦屋ユネスコ協会が入っていないのか、不思議に思っています。全国でも一番歴史がある芦屋ユネスコ協会がどうして連携していないのか、行政としても、何かお考えいただければと思います。

それから、西本先生のいらっしゃる関西国際大は、外国人を事務職員で雇われた国内で最初の例で、正職員として外国人を雇用されている。雇用の流動化、まさにそういう時代かと思います。にほんご学級関係ではそういうところです。

越智委員も先ほど仰っておられたように、学友会の方々、昔から言われていることですが、学習成果の社会還元という言葉があります。学んだことを社会に活かしていくと行く意味です。そういう意味では学友会の方々があちこちで活動されている、社会貢献されている。敬意を表したいと思います。

横田委員)

こども向けの夏休みの教室を充実されているということですが、いま学校で自由研究の発表会をしていて、今年は勾玉が多いなと思っていました。ここに理由があるんだなと思いながら。万華鏡も確かにあります。(笑いが起こる) こどもたちにとって一つのきっかけとして能動的に、というご説明がありましたが、学校でも子どもたちがいかに主体的に学べるかということがこれからキーワードになってくるというか、今後もA I やI C Tが発達する中でどれだけ子どもたちが主体的に動けるのかということを重視して学校としても取り組んでいますので、そういうきっかけづくりとしては非常にありがたいなと思います。学校としても時間に制限があるので、夏休みの間に、ちょっとでも興味をもってやってみるとか、それをきっかけに自分のやりたいことを見つけるとか言ったところでは非常にありがたいなと思いました。

・協議事項報告

令和7年度秋・冬の公民館講座等の実施予定について【資料②参照】

・質疑応答・委員意見

今西委員長)

いろんな計画を立てるのは事務局大変だと思います。敬意を表します。

事務局・河内)

昨日入ったニュースですが、大阪の松竹座が廃館することになったんです。大事件です。歌舞伎を日常的に観る劇場が大阪からなくなってしまうんです。だから団体観劇に行くとしたら今の間に行くしかないということなんです。

芦屋の山手町に指揮者の佐渡裕の屋敷があります。安藤忠雄の設計とわかるんですけども、あの家がその前は中村梅玉という歌舞伎で最初の芸術院会員になった人の家なんです。あまり知られていないのですが案外身近なところに教材があるということなんですね。そういう意味で松竹座がなくなるということは大事件で、文楽劇場はまだありますが、歌舞伎をちゃんと観られる劇場がなくなってしまう。

今西委員長)

松竹さんも思い切ったことをしましたね。

秋の講座スタートに歌舞伎入門があります。

令和8年度は青い鳥学級は芦屋市が担当ですが、音訳・音読といったボランティアの方々がおられるのでその方々を中心に、音訳・音読ボランティアの育成や養成といったことについては社会教育の責任ですので、考えていただければと思います。

・事務連絡

事務局)

会議録の確認依頼、次回審議会（令和8年2月ごろ予定）への出席依頼

・閉会

今西委員長)

先生方からいろいろなご意見をいただきましたことにお礼申し上げます。

社会教育施設としての公民館の役割は非常に重要で、今後も先生方におかれましては公民館にご協力いただきたいし、また公民館はまちのために頑張っていただければありがたいと思います。